

出前福祉講座における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン

本ガイドラインは、出前福祉講座時の新型コロナウイルス感染予防のための基本的な考え方を示すものです。

なお、状況に変化があった場合には、本ガイドラインの見直し等を行う場合があります。

1 基本的な感染症対策を実施する

○体調不良の方の参加の自粛

- ・発熱や咳等の風邪の症状がみられる時や体調がすぐれない方の参加は控えてください。

○感染予防

- ・講座の前には手洗いやうがいを行ってください。
- ・参加者は必ずマスクを付けてください。
- ・会場は換気を行ってください。

○「3密」（密集・密接・密閉）の回避を心掛けてください。

- ・会場は可能な限り、席の間隔を空ける等の対応をしてください。

2 講座ごとの対策について

○車イス体験

- ・車イスは消毒を行った状態で貸し出しを行います。

講座当日は使うごとに消毒を行うことは難しいですので、参加者は可能な限り手袋を付けてもらえると助かります。

○ガイドヘルプ

- ・従来はアイマスクを付けて体験を行ってもらっていますが、新型コロナウイルスが収束するまではアイマスクの貸し出しは中止します。（目を閉じた状態で体験します）
- ・視覚障がい者と介助者とを体験する際にはどうしても接触することになりますので、参加者は可能な限り手袋を付けるようにしてください。

○点字

- ・点字盤は消毒を行った状態で貸し出しを行います。
もし可能でしたら、講座当日もウェットティッシュで拭くことが出来るようにしていただくと助かります。
- ・定期的に教室の窓を開けて、換気を行ってください。
- ・席の間隔を空ける等、出来るだけ密接にならないような席にしてください。

○手話、朗読、要約筆記

- ・定期的に教室の窓を開けて、換気を行ってください。
- ・席の間隔を空ける等、出来るだけ密接にならないような席にしてください。

○講話

- ・プロジェクターを使つての説明を行うため、カーテンを閉めて教室を暗くしていただきますが、出来るだけ換気を行ったり、席の間隔を空けたり等の対応をしてください。

3 適用期間

本ガイドラインの適用は令和2年6月1日（月）から当面の間とし、状況に変化があった場合には見直します。

4 講座の中止について

倉敷市内で感染者が増加した場合や緊急事態宣言が出された場合は、講座を中止させていただく場合もありますので、ご了承ください。